

〈2018年8月18日〉

談話室

▼▽鶴岡市の赤川花火大会開催日は庄内と内陸を結ぶ国道112号が大混雑する。今年18日。国土交通省は温泉施設と連携し渋滞の解消を試みる。大会前の観光と見物後の入浴を勧め移動時間帯の分散化を目指すという。

▼▽週末は同区間の古道・六十里越街道も混雑が見込まれている。といってもこちらは車ではなくランナー。自然と信仰が息づく出羽三山の参詣路を駆け抜けるトレイルランニング大会(18、19日)が初めて開かれる。西川町から鶴岡市までの42^キ。20^キ、親子3^キ部門もある。

▼▽羽黒山は現在、月山は過去、湯殿山は未来をそれぞれ表すとされ、山岳信仰が庶民に広がった江戸時代、この三山を巡ることは「生まれかわりの旅」といわれた。本大会は時に岩や木を越え、沢を渡る過酷な行程。修験者の「山駆け」にスポーツの要素を加えたイメージか。

▼▽「出羽三山の精霊に抱かれ、自然を体いっぱいに取り込み、安全に楽しむ」ことを最優先する。羽黒山伏の星野文紘さんによると、厳しいときは「頑張れ」の言葉よりも水音や鳥の声、風の音が力になるといふ。山と一体化した先に完走と「新たな自分」との出会いがある。